

Radio On The Street  
西谷文和



発行責任者：西谷文和  
連絡先：〒564-0041 大阪府吹田市泉町1-22-33  
TEL 06-6170-4757  
メール otayori@radiostreet.net

このニュースは募金いただいた方、講演会に参加された方に郵送  
しています。今後も年に4回程度発行します。

2024.6.4  
第21号

### ●ラジオの聞き方

スマホやパソコンで「路上のラジオ」と検索して  
ください。YouTubeで聞けます。  
チャンネル登録していただきますと、毎回お知らせ  
が来るので便利です。



木造リングはほぼ完成。右下、駐車場の隣は地下鉄夢洲新駅で、穴がふさがれ、道路になっている

### 現場をドローンで撮影

24年5月27日、大阪市民ネット  
ワーク代表の藤永のぶ代さんと一  
緒に夢洲へ行き、ドローンを飛ば  
す。今年1月に撮影した時は、地  
下鉄工事現場にはまだ穴が開いて

## 夢洲&万博協会突撃取材

## 工事は間に合わない。そして来客はたどり着けない

いたが、今はフタをされて、そこ  
に道路が通っている。「世界一高  
価な日除け」の木造リングはほぼ  
完成しているが、肝心のパビリオン  
工事が全く進んでいない。工事  
車両も労働者もまぼら。ドローン  
を旋回させて、カジノ建設現場を  
撮影。逆にこちらはトラックが行  
き来して、メタンガス抜きなのか  
地盤調査なのか、杭が数本打ち込  
まれて工事は順調に進んでいるよ  
うだ。まだ6年も先の工事が順調  
で、あと10ヶ月で開幕する工事は  
停滞。

さらに旋回させると白い夢舞大  
橋と、万博用の取り付け道路が。  
わずか半年のアホ祭りのため、巨  
大道路、地下鉄。ちなみにリング  
に使われている木材だけで、能登  
への仮設住宅約4千戸が建築可能  
ありもつたない。

### 大阪パビリオンは「健康サギ？」

地上からズームで大阪ヘルスケ



カジノの工事は順調のようだ。トラックが出入りし、何本か塔が見える。  
メタンガス抜きと地盤改良のためか？

アパビリオンを撮影。あの白い建  
物の中に目玉商品「人間洗濯機」  
が展示予定。ちなみにこの人間洗  
濯機は(株)サイエンスの出品で、  
この会社の顧問を務めるのが大阪  
大学寄附講座教授の森下竜一。森  
下はパビリオンの責任者で、ベン



# 小出先生に聞く その15 原発はウソで始まり、事故は隠蔽される

(前号まで) 能登半島地震で、地震大国日本での原発再稼働がいかにクレージーな政策なのか、が分かった。志賀原発を動かしていたのが北陸電力だ。東電や関電と体質は全く同じ。ひたすら事故を隠すのだ。

## 再稼働は日本破滅への道

——データを隠した、ということ  
で言いますと、北陸電力は99年に  
臨界事故を起こしておきながら、



高浜原発3、4号機、60年稼働を認可 原子力規制委員会  
経済  
2024/5/29 12:53  
福島事故直後は「極めて例外」としていた原発の20年延長。今では「普通に」認められる。当然、古い原発ほど危ない。次の地震が北陸を襲えば日本は終わりだ。政権交代して原発ゼロを。

これを8年間も隠していたのですか？

小出 そうです。臨界事故というのは原子力施設では、絶対に起こしてはいけない事故、なのです。北陸電力は定期検査中に制御棒を動かしていて、臨界状態にしてしまった。大変なミスをしてしまったのですが、その2ヶ月後に志賀原発2号機を着工させる予定でした。だから臨界事故を隠してしま

——それで8年間も隠し通したんですか！

小出 はい、ずっと隠していました。志賀原発の臨界事故が起きたのは99年6月、その年の9月に東海村でJCO臨海事故が起きるんです。

——あつ、覚えてます、それ。

小出 2人の労働者が悲惨な死を遂げるという事故です。も

し6月の時点でちゃんと事故を報告しておれば、みんなが臨界事故に気をつけますから、JCOの事故はおそらく防げたはずだった、と私は思います。重要な事故を隠すなんてことはやってはいけないし、それを8年間隠し続けるという

ことを北陸電力はやっていました。——東電も関電も似たようなものですが、そんなところに危険な原発を動かさせてはダメですよ。

小出 日本の電力会社は腐っています。情報を隠蔽する常習犯ですので、再稼働など絶対にさせてはいけないと思います。

——最後に珠洲市の原発計画について。これ、もし出来たら1000kw？

小出 はい、70年代の後半だったと思いますが、計画が浮上して北陸電力だけでは支えきれないので関西電力、中部電力と一緒に、能登半島の珠洲市に2ヶ所、原発を建てる。合計で1000kwに達する巨大な原発計画です。

——世界最大規模ですね？

小出 はい、今世界最大のものは、東京電力柏崎刈羽原発ですが、870kwです。

——柏崎より大きかった！今回珠洲市が震源地でしょ？

小出 まさに震央ですね。

——できてなくて良かった！反対した当時の人々のおかげです。

小出 住民の方々が長い間、大変な戦いをしてくれて、ようやく珠洲原発が止まった。2003年に計画凍結になりました。約30年の長きにわたって住民が抵抗し続けてくれたおかげでようやく止まってくれていたので。

——3・11から13年経ちましたが、「原発は絶対に動かしたらダメだ」というのが、今回の教訓ですね。

小出 はい。今回の地震で、何より助かったのは「志賀原発も柏崎刈羽原発も、福島事故の後13年間止まっていてくれた」ことです。崩壊熱が千分の1以下に減って来ていたから大きな事故にならなかった。これがこの地震の教訓です。

——ありがとうございます。再稼働させてはいけません、と確信しました。ありがとうございます。小出 ありがとうございます。

### 編集長より

世界では長引く紛争の終わりは見えず、国内では経済格差がますます拡大する中、物価高もあいまって庶民の暮らしは一向に上向きません。政治家たちの威勢の良い掛け声とは裏腹に、先日発表された昨年度の実質賃金は、前年度比2.2%減で2年連続マイナスとなりました。この国では依然として毎年2万人以上が自ら命を絶ち、その中で特に気になるのは小中高生のそれで、毎年500人台で高止まりしています（令和4年度過去最高の514人・令和5年度513人）。子どもたちが絶望する社会とは何なのか？小さくて弱い者を守れない社会とは何なのか？

私たち大人には、大きな責任があります。私事で恐縮ですが、今年初孫が生まれしました。まるで天からの授けのように可愛らしい寝顔を見ながら、この子が大きくなったときにこの国はどんなふうになっているのだろうと想像するに、心配の方が尽きないのが残念です。願わくば、空や大地が穏やかであって、人間同士が争うことなく、富は互いに分け合い、困り事は互いに引き受け合い、子どもたちがきらきらした瞳で笑って暮らしている、そんな世であってほしいものです。国や自治体の為政者たちの務め

とは、そういった社会をつくる、それ1点のみはです。ところがこの20年来、とりわけ新自由主義なる風潮がこの国を包み込み、富める者はどこまでも富み、そうでない者ものは自己責任なのだかと切り捨てられ、深い谷に墮ちた者は這い上がる気力すら失っている、そんな国になってはいないでしょうか？お祭りや幼稚なエンタテイメント（それは政治もしかり）に浮かれてる間に、欲深い権力者の思うままに操られているのだと気付いている人はそれでも少数いて、私たち「路上のラジオ」は、そういった方々の声を伝え続けています。マスメディアが

「ワシントン拡声器」をまことしやかに垂れ流すなら、私たちは「路上拡声器」でおおいに対抗しようじゃありませんか！？  
 そしてこの場をお借りして、そんな「路上のラジオ」にたくさんの方からご寄附を頂戴していますことに、心から御礼を申し上げます。それぞれの志しは必ずしも大きくなくとも、集えば確かな力になる、そうやって社会を少しでも変えていければと願います。これからも「路上のラジオ」をどうぞよろしく願います。  
 (ディレクター・山本素)

### DVDをプレゼントします

今回のイスラエル・パレスチナ取材を約30分の映像にまとめ、DVDにしました。聖地エルサレム金曜礼拝で睨み合うアラブとユダヤ、600名が殺害された西岸への潜入、野外コンサートで祈る人々に響く轟音など、ぜひ映像でご覧ください。そして「平和憲法で、互いに話し合うことでしか戦争は止められない」ことを拡散してください。希望される方は

nishinishi@r3.dion.ne.jp まで。  
 後日郵送します。

### 編集後記

22年のアフガン、23年のウクライナ、そして今年イスラエル取材を1冊の本にまとめている。いろんな紛争地取材して「戦争を始めるのは簡単。終わらせるのは難しい」と感じる。俳優の菅原文太さんが沖縄で「政治家の役割は2つ。1つは国民を飢えさせないこと。もう1つは絶対に戦争をしないこと」と訴えた。岸田文雄より、菅原文太が首相にふさわしい。なぜ戦争がダラダラと続くのか？それはズバリ、そこに武器があるから。中東戦争で言えば、アメリカがイスラエルに、旧ソ連がアラブ諸国に武器を供給し続けたので、延々と戦争が続いた。旧ソ連が崩壊して東西冷戦が終わった今は、ネタニヤフにアメリカが、ハマスやヒズボラにイランが武器を与えるから「代理戦争」は終わらない。そこで暮らす人々はたまったものではない。すでにガザでは3万5千人以上が殺され、がれきの下には1万人以上のご遺体が埋まっている。遺体が腐り始めると、赤痢やコレラが流行ってしまう。支援物資をユダヤの極右グループが奪い取っているの、人々は飢餓状態だ。一方、戦争を終わらせたのが中村哲さんだ。用水路が流れる地域では難民や兵士が農民になり、人々は笑顔で大地を耕していた。求められているのは憲法9条の輸出。拙著はこの夏刊行予定。読んでね。